

令和7年度

施政方針

市議会3月定例会で瀧澤市長が施政方針演説を行いました。今号ではその概要をお知らせします。
詳細は市ホームページや市役所2階行政情報コーナーでご覧いただけます。

☎ 問合せ 政策企画課 ☎ 754・6213

あらゆる機会を通じて
市民一人一人の声を真摯^{しんし}に受け止め、
施策に反映させること、そして、皆さまと協働することこそが、
第7次総合計画のキャッチフレーズである
『『だったらいいな』を叶える いけだ』につながる
まちづくりのあるべき姿と捉え、
本市一丸となって取り組みを進めます。

池田市長 瀧澤 智子

重点テーマ

I

だれもが住みやすいまち 池田の実現

子どもから高齢者まで、女性も男性も誰にとっても住みやすく快適に過ごせる環境づくりに努めます。特に、若い世代が早い段階からライフプランや日々の生活、健康について考える機会をつくるほか、子育て世代の負担軽減に向けた取り組みを進めるなど、各世代に求められる施策に取り組むことで、一人一人の多様な幸せにつながるまちづくりを推進します。

II

人口減少社会に対応する 持続可能な地域づくりの推進

生産年齢人口の減少への対応として、あらゆる世代が健康を維持しながら活躍できる社会をめざすとともに、「2025年大阪・関西万博」のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」を踏まえ、健康寿命の延伸に向けた取り組みを推進します。また、今後深刻化する人手不足への対応として、業務効率化のみならず、市民サービス向上の観点からもDXを推進します。

価値を高め発信するまちづくり

『環境共創』のまちづくり

- 家庭や事業所における再生可能エネルギー設備や省エネルギー設備の導入を促進するため各種補助制度を継続し、ごみの減量に向け、不用品のリユース促進や家庭から出る廃食油のリサイクルを実施します。
- 緑化意識を高めるための啓発や、地域美化を目的とした花いっぱい運動の支援を実施するとともに、五月山のハイキングコース付近などの森林整備を進めます。

地域特性を生かしたまちづくり

- 細河地域では、スマート農業や農福連携のさらなる普及に向けた取り組みを推進するとともに、細河拠点施設整備に向けた検討を進めます。



- 池田駅周辺では、駅前空間の再整備やコミュニティセンター跡地の有効活用などについて官民連携で取り組み、引き続き企業誘致を図ります。また、池田駅南広場の維持管理を通じてさまざまな活動を促進します。
- 石橋阪大前駅周辺では、まちづくり協議会の活動への支援を図ります。

都市活力の維持と活性化

- 市内の商工業者や商店街などを支援し、中心市街地のさらなる活性化に努めるとともに、意欲ある創業者の挑戦を後押しするような支援を進めます。
- ハローワーク池田と連携して就労イベントを開催するなど市内での就労支援を進めます。

シティプロモーションの展開

- ホームページやSNSを活用しながら、本市で活躍する皆さんの紹介を通じて市の魅力を広く発信するとともに、ウオンパットを軸にしたプロモーションに取り組みます。
- 「2025年大阪・関西万博」では、「大阪ウィーク」に参加し、新町だんじりの展示や巡行、飲食ブースでの観光案内所の出展を予定しており、これらの取り組みを通じて本市のPRに努めます。また、万博の機運醸成と教育・子育て支援の観点から万博への子ども招待を実施します。

子どもと大人の未来を育てるまちづくり

子ども・子育て支援の充実

- 「18歳までのこどもなんでも相談窓口」を開設し、保護者や子どもが気軽に悩み事を相談できるように周知と相談支援を実施します。
- 産後ケア事業に係る利用料の負担を軽減するとともに、プレコンセプションケアの周知啓発や卵子凍結費用の助成により、将来の妊娠に向けて自身の生活や健康に向き合い、一人一人の選択肢を広げる取り組みを進めます。
- 育児負担の大きい多胎妊産婦や多胎家庭を支援するため、家事・育児のヘルパー利用に対する助成を実施します。
- 誰もが要件を問わず保育を受けられる「こども誰でも通園制度」が8年度から実施されることに先立ち、試行的に



事業を実施するための体制と環境整備を進めます。

- 留守家庭児童会の対象学年を小学4年生まで拡大し、保護者の就労などにより保育を必要とする子どもが安全・安心に過ごすことができる環境整備に努めます。
- 18歳までの子どもに対する医療費の助成を継続し、子育て世代の医療費負担の軽減と子どもの健全な育成に努めます。

学校教育の充実

- 学校施設の老朽化や少子化による児童生徒数の減少などの現状の課題点を踏まえ、「(仮称) 未来の学校づくり推進計画」を策定し、各学校の施設整備の方向性を検討します。
- 小・中学校と義務教育学校での給食費の無償化を7年度上半期も実施します。

生涯学習の推進と郷土愛の醸成

現在休館中のくれは音楽堂は、8年度の再開をめざし、耐震補強のほか設備更新も合わせた工事を実施します。

文化・芸術・スポーツ活動の推進

市民文化会館の長寿命化計画を策定し、大規模改修工事について検討を進めます。

いきいきと暮らし続けられるまちづくり

人権と多様性を尊重するまちづくり

- 思春期の子どもが、早い段階からフェムケアの理解を深め、性について学び、自身の健康やライフプランについて考える機会となるような啓発冊子を作成します。
- 女性が自分の思いを形にし、一步を踏み出すことを応援するための人材育成プログラムや、男性の仕事と家庭の両立を支援する事業の実施に加え、外国人市民と地域の市民が互いに安心して生活できるよう、多言語相談や日本語教室を実施します。
- 社会福祉協議会に「ひきこもり相談窓口」を設置し、ひきこもり状態にある方々の支援体制を構築します。また、本市に「福祉生活相談窓口」を設置し、生活の困り事をはじめとする福祉に関する幅広い相談に対応します。

高齢福祉の充実

- 旧敬老会館とその周辺施設を集約し、高齢者の生きがい



づくりの支援に加え、多世代が交流を図れる新施設の建設工事を実施します。

- 地域包括ケアシステムについて、住み慣れた地域のつながりの中で自分らしく暮らし続けることができるように支援体制の充実に努めます。
- 高齢者の介護予防を保健事業と一体的に実施し、イベントを通じた健康に関する意識の向上や、学びの場の提供を通じた高齢者の社会参加の促進に取り組みます。

障がい福祉の充実

それぞれの障がいに適した福祉サービスなどの提供体制の充実に努め、就労の場の確保や関係機関と連携したサポート体制の確立を図り、ニーズに応じた就労支援を行います。

保健・医療の充実

- 国民健康保険事業について、生活習慣病の発症・重症化予防により、被保険者の健康づくりへの支援を図るとともに、特定健康診査と特定保健指導の実施率の向上をめざします。
- 後期高齢者医療保険事業について、健康計測会や健康教育・健康相談、生活習慣病の重症化予防事業の実施などにより健康寿命の延伸や医療費適正化に取り組みます。
- BCG接種について、集団接種に加えて個別接種を実施するとともに、新たに定期接種の対象となった帯状疱疹^{ほっしん}は、接種を希望する方が安心して接種できる体制の構築を図ります。

快適さを実感できる安全・安心なまちづくり

『危機への備え』の充実

- 災害用トイレなど衛生用品をはじめとする備蓄を計画的に行います。また、自主防災組織に対する資機材の購入補助を実施するとともに、防災士資格取得への一部補助を行います。
- ICTを活用した登下校見守りシステムのさらなる活用と充実を図り、市域全体で子どもの登下校を見守ることができる環境の構築を図ります。また、高齢者を対象に特殊詐欺対策に有効な電話録音機の設置を進めます。

快適な住宅・住環境づくり

- 市営秦野住宅について、住宅ニーズを踏まえた建て替えの検討を進めます。
- 空き家の実態調査や所有者に対する適正管理を促進するための指導を行います。
- 公園・緑地の利活用について、施設の再整備を進め、老朽化対策に取り組みます。



- 五月山緑地について、官民連携によりカフェ・レストランを誘致し、7年度中の開業をめざして整備を進めます。
- 五月山動物園について、オーストラリアから新たにウオンバットを受け入れるとともに、リニューアルに向けた整備を進めます。
- 五月山霊園合葬式墓地は、7年度中に募集を開始します。

道路・公共交通の充実

- 劣化が進む道路の補修や再整備を行うとともに、狭あい道路の解消に向けて取り組むほか、道路ストックの調査と点検を行い、効率的な補修を実施することで安全・安心な道路交通網の整備を進めます。
- 市民の移動を支えている既存の交通ネットワークを将来にわたり維持・確保するため、公共交通の利用促進や人材確保などの支援に取り組みます。
- 自転車用ヘルメットの購入に要する費用の一部補助を実施し、安全意識の向上と事故時の被害軽減を図ります。

上下水道の充実

- 水道管や下水管路、既存施設の更新と耐震化に取り組み、危機管理体制の充実を図ります。
- AIによる水道管路の劣化診断を行い、結果を漏水調査に活用するほか、豊中市との水質検査機器の共同使用により、機器更新費用の削減を図ります。

まちづくりの進め方

「まちづくりの進め方」とは、
本市で取り組む全ての施策にお
いて、意識すべき視点です。



SDGsの推進

- 第7次総合計画に基づく各施策をSDGsの17のゴールに結びつけ、各取り組みを推進するとともに、「池田市SDGs推進プラットフォーム」を起点として、多様な主体間の情報共有、取り組みの連携などを通じた新たな価値の創出をめざします。

みんなで 取り組む まちづくり



- 「第3期池田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づいて、少子高齢化に対応し、定住人口を維持・増加させる地方創生の取り組みを推進します。
- 地域分権制度の推進について、市民の自主性・自立性を尊重した市民協働によるまちづくりの推進を図るとともに、8年度に迎える制度発足20年の節目に向け、市民意識調査を実施し、制度の今後の在り方の検討を進めます。
- 公益活動の促進について、市民活動交流センターを拠点として、市民の多様な活動を促進するとともに、自治会などの地域団体やNPOへの助言と相談対応を行います。

持続可能な 都市経営



- 「池田市DX推進指針」に掲げる市民サービスのDXや行政内部のDXのさらなる推進に向けて取り組みます。
- 職員の育成について、DX推進に資する研修を実施し、DX推進の機運醸成やスキルの習得とその能力発揮による組織の活性化を図ります。また女性が働きやすい職場環境の構築をめざし、職員同士の相互理解を促す研修を実施します。
- 公共施設などのマネジメントについて、市民ニーズや財政状況などを考慮し、財政負担の軽減と時代に応じた公共施設の再整備を実施します。

